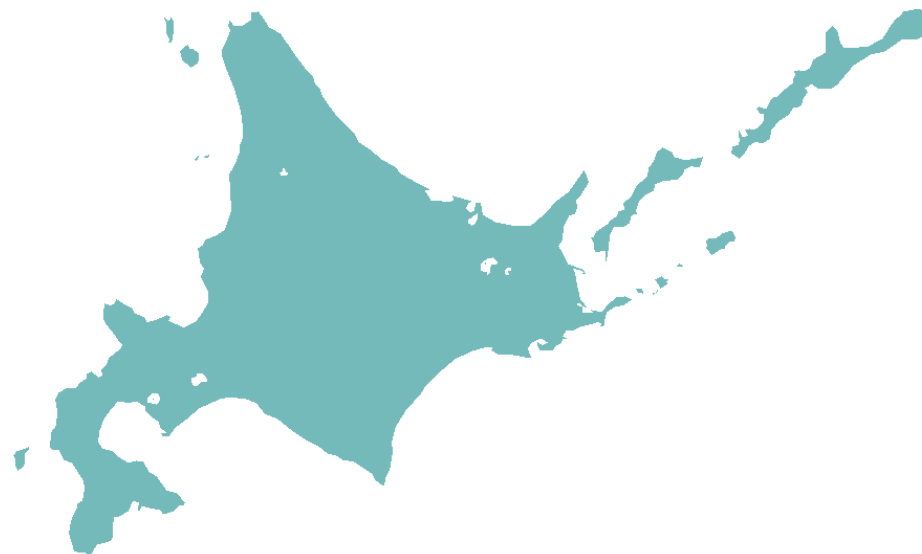


## 最近の北海道経済の動向等について (全国財務局長会議報告資料)


- I. 最近の北海道財務局管内の経済情勢
- II. 地域におけるAI活用を巡る現状 (特別調査)

令和8年1月  
北海道財務局










【問い合わせ先】  
財務省北海道財務局 総務部 経済調査課  
電話011(709)2311(内線4381)



# I .最近の北海道財務局管内の経済情勢 総括

	前回(7年10月判断)	今回(8年1月判断)	前回比較	総括判断の要点
総括判断	持ち直している	持ち直している		個人消費は、持ち直している。生産活動は、弱含んでいる。雇用情勢は、緩やかに持ち直している。観光は、緩やかに拡大しつつある。

〔先行き〕 先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、持ち直していくことが期待される。ただし、今後の物価動向、米国の通商政策、金融資本市場の変動等の影響に注意する必要がある。

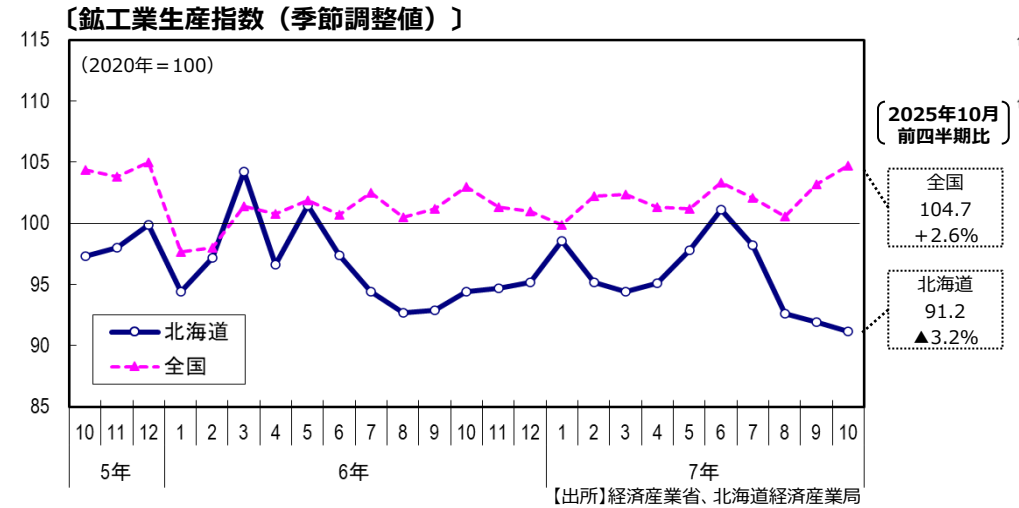
項目	前回(7年10月判断)	今回(8年1月判断)	前回比較	備考
個人消費	持ち直している	持ち直している		
生産活動	一進一退の状況にある	弱含んでいる		下方修正は、令和6年4月判断以来、7期ぶり
設備投資	7年度は減少見込み	7年度は増加見込み		増加見込みは、令和7年7月判断以来、2期ぶり
雇用情勢	緩やかに持ち直している	緩やかに持ち直している		
住宅建設	弱い動きとなっている	弱い動きとなっている		
観 光	緩やかに拡大しつつある	緩やかに拡大しつつある		
公共事業	前年を上回る	前年を下回る		前年を下回るのは、令和7年4月判断以来、3期ぶり
企業の景況感	「上昇」超となっている	「下降」超となっている		「下降」超は、令和7年7月判断以来、2期ぶり
企業収益	7年度は増益見込み	7年度は減益見込み		減益見込みは、令和7年7月判断以来、2期ぶり

(注) 8年1月判断は、前回7年10月判断以降、足下の状況までを含めた期間で判断している。

生産活動		観光	
前回 (令和7年10月判断)	今回 (令和8年1月判断)	前回 (令和7年10月判断)	今回 (令和8年1月判断)
一進一退の状況にある	弱含んでいる	緩やかに拡大しつつある	緩やかに拡大しつつある

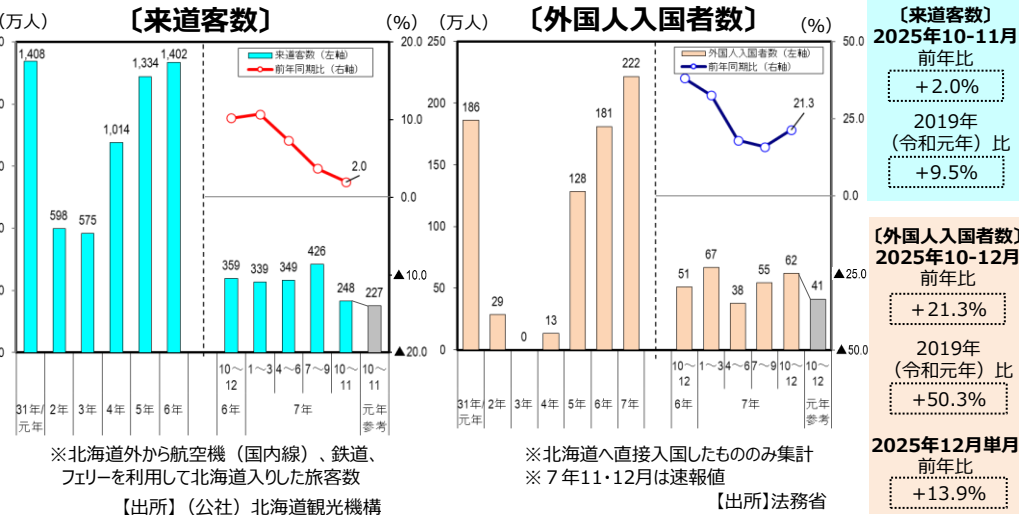
生産活動は、「鉄鋼」や「金属」などが減少しており、全体では弱含んでいる。

観光は、来道客数、外国人入国者数ともに前年及びコロナ前を上回っており、緩やかに拡大しつつある。



■生の声

- 鋼材メーカーの高炉トラブルにより原料の調達が滞ったことから、今期生産が大幅に縮小した。【鉄鋼】
- 例年と比べ、中規模のマンションや商業ビルの着工数が少なく、建具、鉄骨等の生産量が低調に推移している。【金属】
- 今年度の秋鮭漁獲量は過去最低水準であり、加えて円安で輸入コストもかさむため、原料確保が困難となり生産量が減少した。【食料品】
- 国内、海外向けともに受注は引き続き堅調であり、生産動向は安定している。【輸送機械】



■生の声

- 北海道観光の人气がコロナ前と比較しても高まっていることから、機材の大型化や増便を行っており、来道客数が前年を上回る状況が続いている。【運輸】
- インバウンドについては、韓国、台湾、香港のほか、直行便の増便を背景に東南アジア圏からの観光客が増加しているため、前年を上回っている。【旅行】
- 足下の予約状況については国内客、インバウンドともに堅調。中国からの観光客は、団体客が減少している一方で大半を占める個人客は堅調であり、引き続き冬季シーズンの需要は旺盛だと見込んでいる。【宿泊】

# Ⅱ．地域におけるAI活用を巡る現状（特別調査）

- AIを活用している企業の割合は、5年前に比べ大幅に増加。5年前は大企業が中心だったが、現在は中小企業でも活用が進む。
- AI活用の用途は、いずれの規模でも「文章作成」や「情報検索・収集・調査」を挙げる企業が多い。
- AI活用の効果は、いずれの規模でも「業務時間の削減」が最多。大企業・中堅企業では、次いで「コスト削減」、「必要人員の減少」が多いなど財務上の効果を挙げている。中小企業は「既存商品等の価値・品質向上」が多く、アウトプット面の効果を挙げている。

